

**雨水出水浸水想定区域図
(想定最大規模降雨)**



1:16,000



- ① この雨水出水浸水想定区域は、指定時点の稲沢市における下水道・調整池等の排水施設の状況等を勘案し、想定し得る最大規模の降雨（1時間降雨量147mm）に伴う雨水出水により、内水氾濫が発生した場合に浸水が想定される範囲やその深さをシミュレーションにより求めたものです。
- ② この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に色がついていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる可能性がありますので注意してください。
- ③ このシミュレーションは、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等は考慮していませんので、このような事象が同時発生した場合は、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
- ④ このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を計画上の最高水位に設定しています。
- ⑤ 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。
- ⑥ このシミュレーション対象外の区域においても、内水氾濫による浸水が発生する場合があります。
- ⑦ このシミュレーションは、雨水排水のための下水道施設について、整備済または早期に対策を検討すべき区域を対象としています。

- ① 作成主体：稲沢市
- ② 指定年月日：令和7年10月1日
- ③ 告示番号：稲沢市告示第109号
- ④ 指定の法令根拠：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
- ⑤ 指定の前提となる降雨：ピーク時の1時間に147mmの降雨がある場合で、平成20年8月末豪雨（H20.8.28）の約1.2倍の降雨
- ⑥ 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法 降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施、地形情報を活用（下水道等の現況排水能力以上は全て溢れ、区域内の低平地に全量湛水するものとした）
- ⑦ 境界条件：福田川・三宅川の解析範囲における最下流端水位は計画高水位、排水機場・ポンプ場は運転継続、堰・樋管は開放
- ⑧ その他計算条件等：対象区域を25m（625㎡）のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算、福田川・三宅川は下水道と河道を一体として解析

- 凡例
- シミュレーションの
対象範囲
- 想定浸水深 (m)
- | |
|-----------|
| 0.1 - 0.3 |
| 0.3 - 0.5 |
| 0.5 - 1.0 |
| 1.0 - 3.0 |
| 3.0 - 5.0 |